

## 授業改善推進プラン 中学3年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価
国語	①場面の状況を踏まえて自分の考えを書く力を育成する。 ②自分の感情や考えを筋道立てて適切に表現する力を育成する。	①批判的に文章を読む技術、その表現方法としての意見文の書き方を学ばせ、作成した文章を互いに読み合い、相互に学びあう場面を多く持たせる。 ②「天声人語」の筆写を通して、文章構成・展開の方法を体感させ、感想文や作文などで活用させる。	【評価】
社会	①思考・判断能力を向上させる。 ②知識・技能を向上させる。	①統計資料や写真資料などを活用して、「自分なら」と自らを見つめる思考能力の定着を図る。 ②単一問題や文章問題から、社会的知識の定着や統計資料等からの読解技能を高める。	【評価】
数学	①個に応じた指導の充実を図る。 ②基礎的な技能を活用する力の育成を図る。	①習熟度に応じた、演習課題を提示する。 ②基礎的な技能を振り返りながら、応用問題に取り組む。	【評価】
理科	①個に応じた基礎学力を定着させる。 ②複合問題を解決する能力を育てる。	①基礎・基本テストの実施と、個に応じた振り返り学習を行う時間を確保する。 ②複合問題へ取り組ませ、丁寧な解説を行う。	【評価】
音楽	①基礎的な用語・楽語を習得させる。 ②演奏解釈の多様性に気付く。	①楽譜から用語・楽語を読み取る発問をし、演奏表現につなげる。 ②多様な言語・国籍の音楽を取り扱い、作曲家や国・時代の特徴を比較して演奏する。	【評価】
美術	①鑑賞活動を充実させる。 ②主体的に活動をする。	①実物に触れ、作り手の思いや伝統・文化を継承していく態度を育む。 ②黒板や掲示をユニバーサルデザイン化し、主体的に授業に取り組ませる。	【評価】
家庭	①保育実習に向けた実践力の向上を図る。 ②基本的な知識の定着をさせる。	①幼児の特徴から接し方を具体的に考えさせる。 ②動画などを使い、日常でかかわりのある子どもの様子と幼児の特徴を関連付ける。	【評価】

技術	①生活との関わりを意識した知識・技能の定着を図る。	①生活の中で使用している製品の仕組みを模したプログラムを題材に取り上げ、自分の生活の中で活用できる知識・技能を定着できるよう指導していく。	【評価】
保体	①主体的に取り組む態度を育成する。 ②体力の向上を図る。	①单元ごとに必ずアクティブラーニングを意識した授業を実施する。 ②巧緻性に重点を置く。	【評価】
英語	①基礎的・基本的な技能の習得を図る。 ②基礎的・基本的な技能を活用し、表現をする力の育成を図る。	①新出単語・新出文法を、ワーク等を活用し、繰り返し練習させる。 ②既習の単語や文法を用いて、発表や報告をしたり、会話でやりとりをしたり、文章を書いたりする機会を設定する。	【評価】